

## SDGs達成に向けた具体的な取組（要件 2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
18	<input type="checkbox"/>	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・【予定】ISO14001を検討する。			3.9			6	7					12	13.3	14	15				
19	<input type="checkbox"/>	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・【予定】HPで環境情報を公開する。												12.6							
20	<input type="checkbox"/>	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・社屋の屋根を利用して太陽光発電を行っている。								7.2					13						
21	<input type="checkbox"/>	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】認定製品の利用を検討する。												12.2	13	14	15				
22	<input type="checkbox"/>	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・社長が年一回、社員全員と面談し汚職・贈収賄に対する相談を受け付けている。 ・【予定】汚職・贈収賄を禁止する旨を就業規則に明記する。															16	16.5			
23	<input type="checkbox"/>	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・社長が年一回、社員全員と面談し不正競争行為に対する相談を受け付けている。 ・【予定】不正競争を禁止する旨を就業規則に明記する。																16			
24	<input type="checkbox"/>	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・以前特許を取得管理していたが、有効期限が切れている。 ・新たな特許の取得も考慮し、研究開発を進めている。									8.2 8.3	9									
25	<input type="checkbox"/>	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・社員の個人情報取扱いについて社内周知し、書面にて同意確認をしている ・【予定】「個人情報に対する基本方針」を定めて公表し体制を整備する																16			
26	<input type="checkbox"/>	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・【予定】扱っていない事を確認する。																16			
27	<input type="checkbox"/>	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・主要なサプライヤーは30社に社長が訪問し、SDGsへの認識も共有している。 ・地域未来牽引企業に選定されている ・パートナーシップ構築宣言を行っている						5		8		10		12	13	14	15	16	17		
28	<input type="checkbox"/>	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・製品出荷前の立会で、顧客と共に安全性を必ずチェックしている。		3.9											12.4						
29	<input type="checkbox"/>	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・設計者、作業者が顧客と直接相談して製品を作り上げるため、常に利用者の意見をフィードバックしている。									9										
30	<input type="checkbox"/>	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・フロンを使わず、自然冷媒を利用した冷凍機の開発にも取り組んでいる。						6						12	13	14	15				
31	<input type="checkbox"/>	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・省力化機械を製造し、人がゆとりのある生活が送れる社会に向かう事に貢献する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32 社会貢献・ 地域貢献・	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域未来牽引企業に選定されている。 ・大学や高校、行政、企業に対し要請に応じて見学会を行っている。 ・市の行う展示会にも積極的に参加している。				4					9		11	12		14	15		17
	□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・献血の協力実績がある。 ・地元のサッカーチームのスポンサーをしている。 ・ロボット製作を行う学生にモータやシリンドーや端材などの部材を無償提供している。 ・大学の研究支援を行っている。				4							11			14	15		17
	□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・社員食堂をオープンし、地域で取れた食材を積極的に利用している。								8	9		11	12	13				
35 組織体制	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念を明文化している。 ・ホームページ上で経営理念を公開している。								8	9								17
	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	【予定】法令順守(コンプライアンス)を就業規則に明記する。																	16
	□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・社長がCSR管理を行っている。																	16
	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・顧客も製品を納める前に必ず自社を訪問し、装置透けつけの際は必ず、顧客を訪問するため、都度対話をしている。 ・主要な協力会社には社員が訪問している。協力会社も納品や作業のため、定期的に自社を訪問しており、都度対話をしている。																16	17
	□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・【予定】リスクの洗い出しを計画している。																	16
	□	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・CSRの取り組みを行い、ホームページで公表している。 ・【予定】CSR方針の策定を計画している。																	16
	□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・事業継続計画(BCP)を策定している。										9		11		13	13.1		16
	□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・設計データや業務データは全て毎日バックアップを行っており、設計データはクラウドバックアップも行っている。									8	9							17

#### 上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人体に有害な有機溶剤を機械で塗布する事により、作業者の健康を守る。作業者の長時間労働を緩和できる。 従来のマスキングテープを使う方法では50%無駄になっていた有機溶剤を90%有効利用でき、有害化学物質を削減できる。	有機溶剤を塗布、乾燥する装置を提供する																	
製品の安全性を高める。顧客の生産ラインを止めるリスクを最小限に抑える事ができる。省エネ効果も期待できる。	IoT機能を搭載した冷凍機を開発し、故障を事前に予想する。省エネ効果も期待できる。																	
省エネ、省スペース、製品コストの低減ができる。	熱流体解析ソフトを応用し、熱効率の良い製品を開発している。																	
健康経営、メンタルヘルス、生物多様性、環境配慮	会社の敷地内に菜園を作り、野菜や果物を育てている。更に社内で生じた生ごみを堆肥として利用している。																	

#### 【記載留意事項】

- 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
  - 「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
  - 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
  - また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）